

船工第 518 号
令和 7 年 12 月 18 日

報 道 各 位

一般社団法人日本舶用工業会

東京海洋大学の汐路丸において「乗船研修」を実施

当会は、12月15日～16日に、東京海洋大学附属練習船「汐路丸」（鹿島 英之船長、桑村 祥一機関長）にて「乗船研修」を実施しました。

本研修は、当会の人材養成事業の一環として、日頃、舶用機器が使用されている実際の船舶に乗船する機会の少ない会員企業の社員を対象に、船舶及びその運航に必要な舶用機器類への理解を深めることを目的として、船員及び大学教員各位による指導のもと、平成22年度より実施しており、コロナ禍で中止となった年を除いて今回で14回目となりました。

今年度は、20社から28名が参加。初日の陸上研修では、同大学の岩本 勝美名誉教授（当会人材養成検討委員会アドバイザー）により、汐路丸の概要や搭載機器、推進システム等に関する講義を、佐々木 秀次准教授により、舶用エンジンの概要に関する講義を、國吉 直助教より、舶用補機（ポンプ、冷凍機等）の概要に関する講義を行いました。その後、参加者間の交流促進を目的に、研修生による自己紹介を行い、同大学の食堂で懇親会を実施しました。

翌日の乗船研修では、汐路丸に乗船し、機関室の見学、船橋での操舵体験、ロープワーク、投錨作業の見学等を実施しました。特に、航海中の機関室見学や操舵体験をする機会が殆どないことから、参加者にとって有益な研修となりました。

以上

記

日 時：陸上研修 令和7年12月15日(月)13:00～18:30

乗船研修 令和7年12月16日(火) 8:45～16:30

乗船海域：東京湾内

研修内容：陸上研修 講義、懇親会等

乗船研修 船橋・機関室等の見学、操舵体験、操練、ロープワーク、投錨作業の見学等

参 加 者：20社28名（参加企業は以下のとおり。）

【研修参加企業（五十音順）】

（株）宇津木計器、（株）エヌゼットケイ、（株）エヌワイ、大石電機工業（株）、神奈川機器工業（株）、かもめプロペラ（株）、川崎重工業（株）、（株）國森、商船三井テクノトレード（株）、（株）関ヶ原製作所、ダイハツインフィニアース（株）、大洋電機（株）、ナカシマプロペラ（株）、西芝電機（株）、BEMAC（株）、日立造船マリンエンジン（株）、（株）ミズノマリン、（株）三井E&S ヤンマーパワー・ソリューション（株）、（株）郵船商事マリン

以上

<連絡先>

一般社団法人日本舶用工業会 業務部 山内・秋元 03-3502-2041



岩本名誉教授による講義



佐々木准教授による講義



國吉助教による講義



研修生による自己紹介



汐路丸船員の挨拶



機関室見学



ロープワーク実習



研修生集合写真